

スイート・チャイナ2004 ファイナル・レポート

会期： 2004年9月21日～24日

会場： 上海エバーブライト・コンベンション&エキシビジョンセンター

上海で幸先の良いスタート

ケルン・メッセ、菓子分野で中国、アジア市場に新たなビジネス・プラットフォームを構築

第1回スイート・チャイナ(上海) powered by ISM- は華々しいスタートを切りました。45カ国から7,187人の来場者を記録し、そのうち22%が外国人でした。国際菓子専門見本市(ISM)のサテライト・イベントという位置づけで開幕した第1回目の開催でしたが非常に良い結果を残しました。今回の出展者からは「中国のみならず周辺諸国からのバイヤーとも商談ができた」という声も聞かれました。ケルン・メッセのヴォルフガング・クラッツ副社長は「成長を続ける中国市場で、菓子業界にとって効果的なビジネス・プラットフォームを首尾よく構築できた」と述べました。

第1回スイート・チャイナは2004年9月21日から24日まで、上海エバーブライト・コンベンション&エキシビジョンセンターで総展示面積7,700㎡を使用して開催されました。この展示会には中国メーカーの他、輸出を主目的とする外国の一流企業が出展者として名を連ねました。会期中175の出展企業(外国企業67%)がスナック類からシロップに至るまで様々な菓子製品を展示しました。バリー・カレポー社のマーク・ドナルドソン氏は、スイート・チャイナはプロフェッショナル性が高く、業界に的確に焦点を当てており期待通りのターゲット・バイヤーが来場したと評価しました。専門バイヤーがこの見本市に的を絞り、周到的な準備をして来場しているという声も出展者から聞かれました。またビジネスマッチングとして、ウォルマート、伊藤忠、上海シティー・マーケット、上海市輸入食品企業協会が特設ブースを構え、それぞれの代表者が出展者と商談を行ないました。

クラッツ副社長は今回の成功を受け、ケルンを基盤として成功を収めている見本市の外国展開戦略の正当性が確認されたと述べ、ケルン・メッセが今回と同様に、中国のパートナーとの協力関係を軸に引き続き来年もこの展示会を主催することを発表しました。

次回のスイート・チャイナは2005年9月19日(月)から21日(水)までの3日間、上海エバーブライト・コンベンション&エキシビジョンセンターで開催されます。

【スイート・チャイナ2004】

総展示面積： 7,700㎡

実質展示面積： 2,697㎡ (中国企業：1,095㎡、外国企業1,602㎡)

出展企業数： 175社 (中国企業：57社、外国企業118社、うち日本企業6社)

来場者数：7,187人(専門業者のみ) 日本人：231人